

第2回聖籠町公共交通検討委員会 議事要旨

日時：令和元年10月15日（火）15：00～16：30

場所：聖籠町役場3階大会議室

出席委員：藤堂委員、河村委員（代理出席）、五十嵐委員、齋藤委員、高橋委員、山口委員、森田委員、新保委員、菅原委員、小川委員、森委員、渡邊委員、近藤委員

事務局：夏井副町長、生活環境課：藤田課長、高橋課長補佐、勝見主任、子ども教育課：宮下課長補佐

次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

- (1) 見直しに関する基本的な考え方
- (2) 他自治体との比較
- (3) 町バス網の問題点・課題の整理

議事 (1)見直しに関する基本的な考え方

○事務局から資料説明

○説明を受けての質問・意見

委員 エコミニバスの土曜便は、以前は運行していたが利用がないということで廃止になったという経緯がある。利用者懇談会でも存続を要望したがかなわなかった。

委員 新潟交通の路線バスも7～8年前くらいまで土日曜便があつて高校生などの利用があつたが、採算の関係なのか廃止されてしまった。エコミニバスで代替できればよかったが、代われる部分とそうでない部分がある。

事務局 エコミニバスの土曜便は使用者が少なかったことから、費用対効果の面で廃止ということとなった。

委員 高校生の帰宅（部活終わり）については、バスの時間が合わなければ待つ時間が長くなるため、親の迎えということになる。そうなれば必然的にバスの利用は少なくなってくるのではないか。

議事 (2) 他自治体との比較

○事務局より資料説明

○説明を受けての質問・意見

委員 収支率が低いということで、75歳以上や障害手帳所持者などの運賃免除者が多いと

のことであるが、どの区分の免除者の乗車が多いのかというデータはあるか？また、100円という運賃であるが、200円、300円とした場合の収支率のシミュレーションなどはあるか？

事務局 第1回委員会の資料中に運賃免除者の人数を載せてある。しかし75歳以上や障害者などのどの区分の免除者なのかのデータはない。

委員 一般乗車の割合とフリーパスの割合をみると、料金をもらう一般乗車数が圧倒的に多い。それでいて収支率が悪いということは、100円という料金が適正なのかという話になってくる。100円で乗れるというのは利用者としてはありがたい話であるが、全国的に見て町の収支率が悪いということであれば100円という料金にまで手を付けなければならないのではないか。

会長 収支率が低い要因として、利用料金が安いことが要因なのか乗車数が少ないことが要因なのか町としてはどう分析しているか。

事務局 乗車人数だけの問題ではないと考える。他自治体でもワンコインで利用できるバスは多い。この委員会で100円がいいのか200円がいいのかも含めて検討していきたい。

委員 100円の利用料で年間200万円の収入とのことであるが、200円にすれば単純計算では400万円という計算になるが、200円になれば利用者は減るのではないか。利用者を増やすということであれば逆に料金を下げるべきではないか。

委員 収支率の改善という点で利用料金改定という手立てが必要であろうと思われる。

高齢者は通院や買い物ということで目的がはっきりしている。自宅から目的地まで極端に言えば5分や10分で着くのにバスであれば30分もかかる。どのバスに乗れば目的地に着くのか分かりにくいなどという話も聞く。高校生の利用であれば駅までというふうに場所が決まっているのでバスが有利なのだろうが、高齢者の利用であれば自宅から目的地まで乗車できるのが良く、そちらの方法の方がもしかすると費用的にも安くできるのではないか。

他自治体で福祉施設の空き車両を活用しているという情報もある。聖籠町にも福祉施設が多数あるので、そのような車両を活用するような取り組みができるのかを検討してはどうか。

議事 (3) 町バス網の問題点・課題の整理

○事務局より資料説明

○説明を受けての質問・意見

委員 ダイヤが複雑、時刻表が分かりにくいということだが、長年利用しているものからすると、年々改良を加えてきているので、とても分かりやすい時刻表になってきたと思う。分からない方がいるのであれば説明会などを開いたらどうか。

委員 今の子供たちは、親が意識的に公共交通を利用させない限り、一人で公共交通機関に

は乗れない。時刻表も読めない切符も買えないという子が多いと思う。それが現状である。

町の中学校にはスクールバスがなく、冬季間だけ有料でバスが運行される。3 か月で一人1万4千円くらいの負担となるため、子どもが複数いるとかなりの経済負担となるため、利用しないという声もある。中学校の校内にはエコミニバス、路線バスの時刻表が拡大して張っており、一部の生徒は利用しているが数は少なく、ほぼ利用していない現状である。提案なのだが、学校と連携して親の送迎でなくバスを利用しようというキャンペーンのような取り組みや、学校側からもPRしてもらおうというのはどうか。

委員 定かではないが、何年か前に中学生の通学でバス利用を推奨したことがあり、亀代地区を中心に利用が伸びたことがある。その時は特定の便が中学生でいっぱいになり、一般の方が乗り切れない日もあったと聞いた。そんな状況から冬季中学校通学バスが始まったと記憶している。

会長 携帯などで経路検索してもバスの情報が出てこない。バス情報が検索出来るようになれば、中高生であれば情報検索できるし、運行情報が手元で検索出来れば利用のハードルは下がるのではないか。加えて、路線検索に情報が出てくると、今まで利用していない新規の方からしても分かりやすいし利用が広がるのではないか。

事務局 今年度になってからであるが、NAVITIME に情報提供した。近日中に情報が出るのではないかとと思われる。

委員 飲酒時に佐々木駅から利用しており便利、という声も聞いている。高齢者などのお茶の間の場所においてアルコールを提供し集まりを催すようなことをやれば利用者が伸びるのではないか。75歳以上が多数であるため収入には響かないと思われるが。

副町長 ダイヤが複雑になる理由として、近くに停留所を、この集落にも停留所をなど様々な要望を聞き入れていった結果、どんどん路線が複雑化していったことがあげられる。委員から意見があったように、直線では10分で行けるのに、バスに乗ったら30分かかってしまうということになる。みなさんの要望に応えようとした結果、だれにとっても不便なものになってしまう。経費だけがどんどん膨らんでいき続かなくなってしまう。それが今のエコミニバスの実態。いろいろな方の都合に合わせるというバスでありがたいが、ある程度最大公約数的な「バスはこういう使われ方だ」というものを作って それについて議論をしていくことが必要なのではないか。まちづくりとしてバスを考えるとということを提案させていただいている。高齢者にお出かけをしていただく、バスによって人の流れを作り出すというような積極的な取り組みが必要である。聖籠病院では、健康講座などを開催する際に、エコミニバスでお越しの際は何時の便という案内をさせていただいており、バスに合わせたイベントの時間設定をさせていただいている。一方、役場の会議や催しではそんな取り組みはされていない。町としても反省していかなければならない。

委員 資料の中にもあるように、日中の便の利用は4~5人程度で、主に高齢者などが通院

に使用していると思われるが、利用人数に対し大きなバスを走らせるのはいかがなものか、せいぜい数人が乗れるワゴンでさっに行けるのがいいのではないか。情報提供であるが、町民の中には、町から働きかけがあれば、日中の通院・買い物くらいであればガソリン代の実費程度でボランティア的に送迎の手伝いをしてもよい。というグループもいる。

(文責は事務局。事後修正する場合があります。)